

大学の戦争協力阻止!

ストライキで戦争とめよう!

「経済的徴兵制」への懸念

絶対、あり得ない。安全保障関連法案の議論で「徴兵制復活に道を開くのではない」と追及を受けると、安倍首相ら政権幹部は必ず断定的に反論する。だが今、経済的な事情から貧困層の若者が自衛官の道を選ばざるを得ない「経済的徴兵制」への懸念が語られ始めている。これを憂鬱と云えるのか。【小林祥晃】

狙われる? 貧困層の若者

「格差社会は、徴兵制は必要ありません。志願兵はいくらでも、経済的徴兵制で集められるのですから」。米田社会に詳しいジャーナリストの堀本直人は、こう語った。

「格差社会は、徴兵制は必要ありません。志願兵はいくらでも、経済的徴兵制で集められるのですから」。米田社会に詳しいジャーナリストの堀本直人は、こう語った。



米軍には韓国から徴用される者も多いというイラク・ティク1月21日、AFP撮影。自衛隊は自衛隊を志願する者が増える可能性はない。2013年10月27日、中村監撮影

防衛省、大学向け研究費

公募開始 軍事応用も視野

国の安全保障に役立つ技術を開発するとして、防衛省は大学などの研究者を対象に研究費の支給先の公募を始めた。研究者に直接お金を出すのは初めてで、最大で1件あたり年3千万円と一般の研究費に比べて高額だ。軍事応用が可能な研究分野の広がりが背景にあり、戦後、軍事研究と一線を画してきた日本の学界にも課題を突きつけている。

▼7面II大学に慎重論
公募対象は大学、独立行政法人、大学発ベンチャーや企業。今年度の予算は3億円で、8日に募集を開始

7/22朝日新聞

7/23毎日新聞

●防衛省が大学の軍事研究を推奨

安倍政権は戦争法＝安保関連法衆院採決を強行し、戦争に向かって突き進んでいます。また安倍はフジテレビに出演し「(安保関連法は)戸締りを強化するようなもの」などと愚にもつかぬ説明で乗り切ろうとしますが、数十万数百万の「戦争法阻止」「安倍打倒」の行動が国会前をはじめ全国で巻き起こっています。

こうした情勢の中、防衛省が総額3億円の予算を大学向け研究費の支給先として公募を始めました(7月22日付朝日新聞より)。「マッハ5以上の航空機エンジン技術」「ロボットや無人車両画像認識技術」など28分野を列挙し、いずれも軍事転用可能な、いわゆる「デュ

アルユース」の一環としてあります。さらに来年からは防衛装備庁の新設と共にさらに予算は増大していきます。

そもそも2004年の国立大独立行政法人化以降、大学の運営費交付金は減らされ続けてきました。(11年間で1470億円)大学は運営費を確保するために企業との結びつきを強化し、原発御用学者の温床にもなっていたことは3・11後に暴露されたとおりです。

こうした経済的な大学の締め付けの挙句、最後は軍事研究の解禁＝大学の戦争協力に突き進むようとしています。今や大学こそ安倍の最大の先兵になろうとしています。

今こそ大学からストライキを巻き起こし、戦争のための軍事研究を粉砕しましょう!

全学連 全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)
03-3651-4861 mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp

●経済的徴兵制と団結破壊で学生を戦場に

そしてこれらと一体で「経済的徴兵制」が狙われています（7月23日付毎日新聞夕刊より）。昨年、日本学生支援機構（奨学金を貸し出している機関）の運営委員・前原金一が「奨学金を返せない学生は2～3年自衛隊にインターンシップに行ったらいい。防衛省はやってもいいと言っている」と発言しました。貧困に付け込んだ徴兵制そのものです。実際にアメリカではベトナム戦争の敗戦以降、徴兵制ができなくなって移民などの貧困層をターゲットにした「経済的徴兵制」が行われてきました。そしてアフガニスタン戦争やイラク戦争などに動員され、殺し殺される関係を強制されてきたのです。

さらにこうした学生・青年の戦争動員を強行するために、大学においては自治破壊・団結破壊攻撃が行われています。東大駒場寮、東北大有朋寮、法大学生会館や全国の学生自治会が解体され、反戦を訴えるビラまきの禁止などの規制強化が行われてきました。法大では文化連盟委員長・武田雄飛丸君が大学で集会を呼びかけたり原発御用学者の講演会を批判したことが「静ひつな授業環

境を妨害した」として無期停学処分が下されました。法大ではビラまきの規制に反対した学生13人がこの9年間で退学・停学などの不当処分を受けています。学生の団結を解体し、抗議する学生を排除し、学生を戦場にする。まさにかつて来た道そのものではありませんか。

●大学ストライキで戦争は止められる！

今こそ全国数十万数百万の「戦争法阻止」の怒りと共に、大学からストライキを巻き起こしましょう！

昨年、京都大学では、戦争反対を訴える学生を公安警察が学内に侵入し監視していたところ、全学連の学生がこれを摘発し追放する闘いが勝ち取られました。そして全学自治会のもとクラスで「『戦争反対・安倍打倒』のストライキをやろう」とガンガン訴え、討論が開始されています。沖縄大や東北大でも学生自治会選挙でストライキ執行部が樹立されました。

また韓国で、ギリシャで、全世界でゼネラルストライキが闘われています。国際的な団結で戦争を阻止しましょう。大学から戦争阻止のストライキを巻き起こしましょう。

安倍政権は8月の川内原発に続いて伊方原発の再稼働も強行しようとしています。さらに福島に対する「帰還強制」の攻撃が激化しています。檜葉町の住民に対して9月に帰町宣言を出し、また来年には避難補償も打ち切ろうとしています。

改憲・戦争・原発再稼働に突き進む安倍を今こそ打倒しましょう。安倍を直撃する8・6ヒロシマ行動に集まり、9月全学連大会へ大結集しよう！



【行動方針】

●被爆70年 8・6ヒロシマ大行動

- 8月5日(水) 15時半～ 全国学生集会(広島市東区民文化センターにて)
- 6日(木) 7時～ 原爆ドーム前にてアピール集会
- 8時15分 黙祷後に安倍首相弾劾デモに出発
- 12時半～ ヒロシマ大行動大集会(県立総合体育館にて)
- 15時 広島市内デモに出発



●“安倍70年談話粉碎” 8・15労働者市民のつどい

- 8月15日(土) 13時～ すみだ産業会館・サンライズホールにて (JR錦糸町駅南口向かい側「丸井」8階)

●9・2～3 全学連第76回定期全国大会

- 9月2日(水)～3日(木) 東京都内にて ※3日の議事終了後に国会へデモ

●武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判控訴審・第1回

- 9月10日(木) 13時半～ 東京高裁にて ※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。

